

そこで今年始めての試みで御座いますが、三月中旬校長
 一年の幼稚園組の先生と保母との座談會を開く事になつ
 て居ります。これも來年度からは一學期に一回づゝ受持の
 先生と保母との話し合が必要ではないかと思つて居り
 ます。そして受持の先生の御理解を願つた上で一年生に
 入學後一ヶ月に一度、十日か二十五日、さか日を定めて
 その日の中の數時間を幼稚園の子どもと一緒に遊ばせ度いの

□

で御座います、或る時はお茶におせんべい位でお互の發表
 會をしたり、人形芝居を見せたり、映畫を見せたり、方法
 としては種々あると思れます。そんな事を續けて見たなら
 ば少しは私共の目的に近づいて行けるものと思ひます。珍
 らしくもない事ばかり長々申述べさせて戴きまして誠に
 恥しう存じますが何卒皆様の御教示をあふぎ度い存じま
 す。

東京市西櫻小學校附屬幼稚園

福 島 春 子

若草の萌へ陽炎のチラ／＼する麗かな四月には、慈愛深
 きお父様やお母様の暖い腕から離れて新しく幼稚園にお這
 りになるエンゼルの様なお子様方を、私共は愛と熱をも
 つてお迎へいたしお預りいたすのであります。そして愈々
 黎明の如き輝しい新學期が私共の前に展開いたします。此
 の時期はお子様にとつては一大エポックを劃する事になり
 はしないでせうか。そして私共保母は毎年のこまながら、

より新しい希望と信念をもつて理想の保育への實現に向
 つて邁進すべく誓ふのであります。
 さて本文に移りますがプランに申しますと大層大袈裟に
 聞えますが結局皆様のおやりになるのを眞似てゐるに過ぎ
 ません。

新學期の始めは保母はあたかもお客様をお迎へする時の
 マチーチャの様な氣持ちで出来るだけ環境の整理をいた

し、遊具も取り揃へ、保育室も子供のお部屋らしく手技製作品でも御座いましたら竝べて置き度いと思ひます。

次に園児の心身状況しらべ竝びに家庭状況調べを詳細にいたしました、それを幼児に照し合わせ、幼児に家庭がびつたりと、結びついて連想出来る様注意いたします。かつて兄弟の在園してゐた子供又は本校に在學してゐる兄弟のある場合には同一家庭に生活してゐる關係上その園児の個性を比較的早くキャッチする事が出来ます。勿論諸兄弟に云へ共も性格の相違してゐるものは随分ありますが、類の點を必ず発見し得るものであると思ひております。

あゝあのお子さんのお妹さんですか、ご聞いただけでも、その幼児の性質の大半をまだ入園式がすんだ許りの日でも知り得た様な氣がいたします。そんな時には私共も朗かな氣持ちで幼児に接することが出来得ませう。此の點からしても同一の園に永く居ることは、保育の上幾多の便宜をあたへるものと思ひます。そんなわけで家庭の状況の調査並びに幼児の心身状況の調査を出来るかぎり詳細にしたいと思ひ、新學期を迎へる時に切に感じる事でありませう。

次に保母は前述の調べの外に名前だけのカードを作りまして一日二日三日と其の日の幼児の心身の狀態を絶えず注意いたしましたして出来るだけ多く、幼児の動作、感じなりを記入いたしておきます。一週間たちましても居るのか居ないのかわからない子供、即ち何一つ記入事項のない子供があまりまして「誰々さんにすまないわね」と話合ふことすら御座いますので、今年は努めて豊富に記入いたし、そんな子供をない様にして終了の時迄變化の比較をしてみたいと思ひます。今迄申上げました事は保母の心の用意の一端にすぎませぬ。

昨日までは家庭の生活、今日からは幼稚園生活で御座いますから、つぎめてなだらかに急激の變化をあたへない様に、たゞお友達が大勢ゐる、遊ぶのに工合がよい、お玩具もあるし、お砂場もある、面白いところだと思ひさせ度いのであります。それで始めの一、二週間位は殆んど團體的集團的の取り扱ひはしない様に、自由に室内でしたり、お積木、繪本、獨樂、小石竝べ、毬つき、お人形、兎に餌をやつたり、家鴨をお池にはなして、眺めたりいたしますが、

さうしても新らしい生活ですし、お付添ひが大勢おりますので、そわ／＼して落著きがなく、長くその遊びが繼續いたしませんから、グループになつては、セルロイドの風車、日の丸の旗、輪つなぎ、首飾り、兜等をつくりましておみやげにしたり、又その合間々々にはお話、お唱歌、お遊戯なごをします。之等のものはなるべく幼児の生活に近いもの（桃太郎、舌切雀、夕やけこやけ）から初めまゝ。

四、五月頃までの保育豫定細目を並べ様かきも存じましたが、今迄本誌で御發表遊ばした方々も大差御座いませんで此れは別に申上げません。

たゞ觀察の方ではお蠶だけは手数をかけましても是非共いたし度いと思ひます。

小さいものを眺める習慣だん／＼大きくなる變化、小さい蠶に桑をやつて可愛がる情愛、都會の子供の缺けやすい氣持ちを補ふ爲には最も大切に適當のものに信じます。今年は蛾の出た後の繭にソーダを入れて煮ましてよく洗ひ一緒にのぼして眞綿を作つてみやうも存じます。昨日も雪解けの後に一寸ミ頭をもちあげた蔭葉を眺めながら桑の芽が

出やしないか、昨年しまつて置いた蠶卵紙は大丈夫かしらんと思ひました。一寸こゝで申上げたいことは蠶卵紙をわざ／＼こつておかなくても附屬幼稚園ですも小學校の理科の材料として飼つて居ります内の少しを頂けばよさそうなものをこそお思ひになりませうがそれは卵を生みますところを幼児にみせます事（天そう行儀よく丸の中に並べます）何年も私共の手で桑も十分に與へる事が出來ず、温度も計らず野生的に育つてきたお蠶さんは環境の變化の精でせうか。大そう丈夫で幼児が時々手の平にのせて御氣嫌を伺つても病氣にもならず相當に立派な繭をいたします。そんな工合で趣味の養蠶でしたら此の方が丈夫でよいと思ひます、

次にレコードに因る保育方法もチョット考へさせられます。ラヂオ體操は近頃めつきり一般的に愛好される様になりましたので園でもかつてこのレコードをかけた事がありました。その時幼児は勿論の事お付添ひの人達迄が氣持のよいリズムに心をうばはれて一、二、三の號令の掛聲諸共に元氣よく體操をした事がありました、それは大家庭のまご

いの様に非常に愉快な場面であり、愛宕山下の幼稚園にふさわしい光景だ。私はひそかに微笑みました。そんなわけでは非共、これを新學期に利用してみたいと思ひます。

四月は暖なシーズだけにお始の前に多くの幼児はお付添ひの方と一緒に來られます。それで毎朝登園時間前二十分間位例の輕快な體操のレコードをかけようと思ひます。幼兒等はラヂオでお馴染のものであるだけに、校門から保育室に這入つて來る時、屹度うき／＼した氣持で足ざりも軽く自然にレコードのリズムに合せるが如くそのレコードの周圍を三々五々取り巻きませう。そしてレコードのリズムにあわして全幼兒が自ら手を足を首を振り動かす事です。むろんその時は保姆も一緒になつてしますが、子供本位でありますから小學校の様に體操本位に強制的にするのではない事は云ふまでもありません。

けれども泣き蟲の子供やはにかみやの子供なきには、保姆は手を取つて「さあ皆んなでませうよ、むらつしやい」と云つて誘ひをかけます。これは幼兒を園に馴らす上に於て付添ひの人々から一日も早く解放させられて幼児だけの

世界にする上に效果的である。共に横の連鎖つまり子供同志の親しみを増さしめる上に於て幾分でも効果があるのではないかと思ひます。みんなお子供さんでも始めの内は多少知らない世界に來た。云ふ恐怖心に似た感じを若干もつてゐるものですから。

それから朝の二十分間にかけるレコードは體操のみはかぎりません。云ひますのは體操云ふよりも情操の陶冶リズムの生活が目的であるのですから、童謡……それに近頃では軍歌も結構でせう、然し一方に偏しない様に注意しなければなりません。

この點レコードの選擇には大いに留意する必要があります。

行事の中では身體検査、園外保育二三回等々であります。私共の園では設立當時より園外保育を特徴としております。幼兒の身體の發達を考へます時、小學校内の幼稚園は屋外のお遊戯場がせまく、のんびり土に楽しむ事が出來ませんので特に設立下さいました方々が御盡力なされまして年十回位いたすことになつております。勿論近所の小

公園等に出かけますのはそのうちでは御座いません、車や

電車で遠出するので御座います。でも四月五月は幼児が
馴れませんのでお付添ひに出かけます關係上、明治神宮、上
野動物園、小石川植物園で御座います。要するに新學期は
家庭的の自然さをもつて變化のない様に申しましても新
入園児にまりましては同時に習慣態度を作る出發點で御座
いますからはじめのうちに善導してゆき度いと思ひます。
これは保姆の幼児心理研究と經驗手腕によつて成功する

□

もので御座います。

二月號掲載の倉橋先生のいろ／＼の子供の御講話は大變
嬉しく拜見いたしました。

まりきめもない様なこゝを長々申述べました事をお許
し下さい。幸にしてこの拙き文が少しでも裨益せられるこ
ころがあれば望外の至で御座います。

何卒この上にも御指導御鞭撻のほごをおねがひ、いた
して擱筆いたします。

東京市京橋昭和幼稚園 白根美智子

三月は學校の師走。

四月は學校の正月。

* * *

一年、或は二年三年を我が子も弟妹も甥姪もいつ
くしみ育て、きた可愛い子供達を、愈々小學校へ送り出す
日——子供達の健かな成育を親と共に心から壽ぎながら

も、近く年に別れを惜しむにも似た淡い悲しみを感じさせ
られる修了式を大晦日に例へるならば、それにかはる何十
かの新らしい顔を迎へる喜びの入園式こそは、私共教育者
にのみ恵まれた心の元旦でも申しませうか。

百八の除夜の鐘の音に過ぎしひき、せを顧み、麗かな初
日を仰いで、新らしき年の計を誓ふのと同じ氣持で、私は